

# 会議結果のお知らせ

附属機関等の名称	栃木県地域福祉支援計画推進委員会
会議の公開について	<input checked="" type="checkbox"/> 公開・非公開（非公開の理由）
<p>(概要)</p> <p>1 日時 令和2(2020)年7月10日(金) 15時30分～17時10分</p> <p>2 場所 栃木県庁本館6階 大会議室1</p> <p>3 出席者 委員16名(委員長、副委員長を含む。)</p> <p>4 議題及び議事</p> <p>(1) 委員長選出 委員の互選により、小林雅彦委員(国際医療福祉大学)を委員長に選出。</p> <p>(2) 副委員長指名 委員長により、麦倉委員(栃木県身体障害者団体連絡協議会)を指名。</p> <p>(3) 「栃木県地域福祉支援計画(第3期)」の進捗状況について 事務局から、第3期栃木県地域福祉支援計画で設定している7つの指標に関し、令和元(2019)年度末時点での達成状況等について、報告を行った。</p> <p>(4) 「栃木県地域福祉支援計画(第4期)」の策定について</p> <p>○地域福祉を取り巻く現状と課題 事務局から、少子高齢化の進行や世帯構造の変化等により生じる、地域福祉を取り巻く現状と課題について説明を行った。</p> <p>【委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 成年後見制度をはじめ、必要な人が必要なサービスを適切に利用できる仕組みが必要である。</li><li>・ 少子高齢化や定年延長に伴い、民生委員やボランティア、介護福祉士などの福祉の担い手が不足しており、人材の育成や確保に向けた取組が必要である。</li></ul> <p>○第4期計画のイメージ 事務局から、計画策定の趣旨、施策検討の方向性(現時点でのイメージ)について、説明を行った。</p> <p>【委員からの主な意見】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 計画期間を6年とすることは長い。3年程度、半分くらいのところで一端見直し等が必要である。</li><li>・ コロナ禍の中で、サロン活動や病院の受診などを控える高齢者がいる中、自らSOSを出せない方に対する見守り活動など、“ひとづくり”が必要ではないか。</li><li>・ 「地域共生社会の実現」をスローガンとするのは良いが、現実には精神障害者への差別や、ひきこもりや認知症の家族について周囲に言い出せないといった事例があることから、根本的な人権教育が必要ではないか。</li><li>・ 地域福祉というのは新しいものを創るより、“ひと”、“技術”など、“いま有るものを如何に活かしていくか”という発想が大事ではないか。</li></ul>	
問合わせ先	栃木県保健福祉部保健福祉課地域保健福祉担当 (栃木県地域福祉支援計画推進委員会事務局) 電話 028-623-3103 FAX 028-623-3131